

教会の交わり-コイノニア ピリピ 1:3-112024. 5. 12 合同 NO. 725
春日部福音自由教会 山田豊

本日は合同礼拝、丘の上交わりデーということで、ともに集い、礼拝後にはBBQと呈茶による交わりの時が持たれます。交わりとは、一般的には人との交流、付き合いという意味ですが、教会で用いる場合には、また違った意味合いがあると思います。この言葉は、当教会の読み物のタイトルにもなっているコイノニアというギリシャ語の日本語訳です。ピリピン人への手紙から、この言葉が使われている聖句を取り上げて、教会の交わりとは何かを改めて教えられたいと願っています。

教会とは、神様によって召された人たち、イエスキリストの救いにあずかった人たちの集まりです。それは国境や地域を越え、教団教派という人の作った枠をも超えるものです。いわば目に見えない教会です。それが目に見える形で活動しているのが、それぞれの地域にある教会です。

ピリピの教会は、パウロとシラスによる伝道によって生まれた教会です。その様子については、使徒の働き6章をご覧ください。このピリピの教会に宛てた手紙の1:5、7には、**福音宣教のコイノニア**と書かれています。福音を宣べ伝えること、すなわち、人々を罪から救い出すイエスキリストの十字架と復活を証しすることが無ければ、教会ではありません。福祉や教育や、地域の中での良い活動も大切ですが、教会が、あるいはそこに集う信徒一人一人がイエスキリストを証しすることを忘れてはなりません。次に、2:1には、**御霊の交わり**、とあります。この後には、教会が一致するようにと願うパウロとの思いが書かれています。聖霊は、神と人とを結びつけ、また教会に集う多様な人たちを一つに結び付けるものです。それは、神ご自身がお一人でありながら三つの位格を持ち、調和を持っているお方だからです。教会の中に分裂や不一致があると感じるときには、この神様を見上げましょう。第3のコイノニアは、3:10にある**キリストの苦難にあずかる**ことです。私たちの受ける苦しみは、イエスの苦しみでもあるのです。そして最後のコイノニアは、4:15です。**物をやり取り**することは、霊的な祝福を受けることにもなるのです。特にこの時代、自然災害や戦争によって助けを必要としている教会が多くあります。このような教会のために祈るとともに、実際の援助をすることが、教会のコイノニアでもあるのです。

ピリピン人への手紙に描かれた教会の交わり、コイノニアを私たちが表していきたいものです。

引用聖句

使徒 16:31 ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。

1 ヨハネ 1:3 私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。

1 ヨハネ 2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯すことがあれば、私たちには、御父の前で弁護する方がいます。義なるイエス・キリストです。

ヨハネ 14:16 わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

使徒 9:5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

星野富弘 ペンペン草

神様がたった一度だけ
この腕を動かして下さるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう
風に揺れるペンペン草の
実を見ていたら
そんな日が本当に
来るような気がした

富弘美術館学芸員による解説→https://youtu.be/zdy9GuJM_Ac